

体罰問題をどう伝えるか

～大学教育の現場から～

日本では、今日もなお、学校や家庭における「体罰」を容認する意識が根強く、次代を担う若者たちに体罰問題をどう伝えていくことができるのかは、大きな課題です。

今回は、大学教育の現場で、日々、学生と向き合っている方々のお話をうかがいながら、私たち一人ひとりがそれぞれの立場でできることを考えたいと思います。

第Ⅰ部 基調講演

「教員養成課程において体罰問題を取り扱うことの意義と課題」

加藤 誠之(高知大学准教授)

第Ⅱ部 パネルディスカッション

「体罰問題について、何を、どのように伝えるか」

パネリスト 加藤 誠之(高知大学准教授)

石上 浩美(大手前大学准教授)

田村 公江(龍谷大学教授)

コーディネーター 住友 剛(京都精華大学教授)

日時 : 2015年7月26日(日) 13:30～16:30(開場13:00)

会場 : 龍谷大学 大阪梅田キャンパス研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階

参加費 : 一般:1000円 会員:500円
当日、受付にてお支払い下さい。

申込み : FAXまたはメールにて、
①お名前、②ご所属、③ご連絡先、
④懇親会参加の有無、をお知らせ下さい。

FAX:0798-57-4122(CAPセンター・JAPAN)
E-mail:taibatsu2015network@gmail.com

会場アクセス

- JR「大阪」駅 桜橋出口 徒歩4分
- 地下鉄四つ橋線 「西梅田」駅3番出口すぐ
- 阪神「梅田」駅 徒歩すぐ

終了後、会場近辺にて懇親会を予定しています。
(懇親会参加費は、別途必要になります)



主催:体罰をみんなで考えるネットワーク

子どもへの「体罰」をめぐる、さまざまな「なぜ?」について、さまざまな立場の人々が集い、共に考え、おとなと子どもの「いい関係」づくりを目指す、ゆるやかなネットワークです。